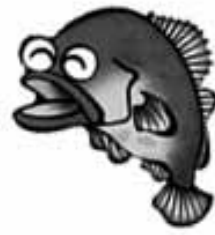


まちのわだい

My Town Topics



〔拡大版〕

おにはそと！ふくはうち！ －内原保・節分豆まき－

2月3日(水)、内原保育所(田村真由美所長)において、日高町商工会青年部(早稲田伊織部長)の協力のもと節分の豆まきが行われ、全園児126人が豆をまいて鬼を追い払いました。

お遊戯室で「鬼のパンツ」を合唱したり、先生の劇「鬼のケーキ屋さん」を観たりしたほか、年の数だけ豆を食べて健康を祈りました。

そのあと園庭に出た園児らの前に、赤鬼・青鬼・黒鬼が登場。握りしめた豆を、「おにはそと！ふくはうち！」のかけ声とともに勢いよく鬼に投げつけました。しばらくすると、クエ太郎・クーコの2人が登場して、鬼たちを撃退。園児らにお菓子をプレゼントしました。

商工会の金崎弘昭さんは「節分は小さい子どもでも親しみやすい行事だと思います。普段園児たちと触れ合うことは少ないですが、交流を深める良い機会だと思っています」と話していました。



練習の成果を発揮 －比井保・なわとび大会－

2月25日(木)、比井保育所(西本康子所長)においてなわとび大会が行われ、年中と年長園児ら8人が日頃の練習の成果を発揮し、上手ななわとびを披露しました。

園児らは少し練習したあと、それぞれ2回ずつなわとびに挑戦。回数を数える先生の声に合わせて、元気に跳びました。

最多の149回を跳んだ松下瑞歩さんは「練習してきて自信があった。嬉しかったです。家に帰ったら自慢したいです」と嬉しそうに話しました。

3月に卒園式を控える年長園児らにとっては、楽しい思い出作りになりました。

ホットケーキをプレゼント♡ —志賀保・バレンタインデー—

2月12日(金)、志賀保育所(松原千代子所長)において、年長園児25人がバレンタインデーにちなんだホットケーキ作りに挑戦しました。

園児らは男女別々の部屋でホットケーキ作りを開始。男の子らは丸いホットケーキ、女の子らはハート型のホットケーキを作りました。女の子らはチョコクリームでケーキにハートマークや「スキ」を描いて意中の男の子にプレゼント。おやつ時間に、みんなでいただきますをして頼りました。



多くのお客さんで大盛況 —チャリティバザー—

2月28日(日)、農村環境改善センターにおいて、日高町社会福祉協議会(寺井陽子会長)主催のチャリティバザーが開催され、多くのお客さんで賑わいました。

当日は好天に恵まれ、多くのお客さんが来場。会場には地域から寄せられた品物3,144点が用意され、安いものでは50円から高いものでは5,000円のものまで。バザーが始まると、目当ての商品のもとに足早に向かって、買い求めています。

バザーは開場からおよそ15分で、日用品がほぼ完売になるほどの大賑わい。レジには多くの商品を持ったお客さんで長蛇の列が出来ていました。

来場されたお客さんは「普段より安い値段でたくさん買って良かったです」と話されていました。

チャリティバザーへのご協力、 ありがとうございました！

去る2月28日(日)に開催したチャリティバザーにおきましては、何かとご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、みなさまより贈られた物品の総数は3,144点となり、総売上金は42万1千500円となりました。

この売上金は、町内のひとり暮らし老人の防火対策等に使用させていただきます。

ご協力ありがとうございました。



日高町社会福祉協議会